

学校教育目標	ひとみ輝く子の育成
目指す学校像	「笑顔あふれる学校」～子ども一人ひとりの輝く瞳と笑顔の実現に向け、児童、教職員、保護者、地域の方々が自ら多様な個性を生かしながら学び、協働する学校～
重点目標	1 自立した学習者の育成による笑顔あふれる学校の実現 2 児童が楽しく落ち着いて生活できる場・機会の創出 3 保護者や地域の学校づくり参画意識の高揚 4 安心・安全な学校 5 人材育成と服務規律の確保

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	〈現状〉 ○児童の学校評価で「進んで学習している」の「そう思う」の回答が他と比べてやや低い。 ○保護者向け学校評価の結果から、「家庭でもタブレットを使って学習している」の肯定的な割合が他の項目と比べて低い。 〈課題〉 ○児童が進んで学習に取り組むための個別最適な学びの研修を進めていく。 ○学習者用端末の持ち帰りと併せて、家庭の端末等で課題に取り組めるようにする	・自立した学習者の育成	①学びのポイント「じ・し・ゃ・く」による学習や個別最適な学び・探究的な学びの授業を行う。(随時) ②授業や家庭での調べ学習やドリルパークなどでの復習、探究的な学びにタブレットを活用する。(毎週) ③児童が学習の進め方を自己決定できる場面を作る。(学期1回)	・児童の学校評価「進んで学習している」の「そう思う」の回答を75%(R6 70%) ・保護者の学校評価「主体的に学習に取り組む」の肯定的な回答80%(R6 72%)				
		・授業力を高める教職員研修	①学校課題研究で個別最適な学びの授業研究を行う。(毎学期) ②市教委より指導主事を指導者に招聘し、指導を受ける。(毎学期)	・学校課題研究で指導主事を指導者とする授業研究会を年間3回実施する。(R6 0回)				
2	〈現状〉 ○児童会のあいさつやいじめの防止の取組など児童が主体的に取り組む姿が見られる。 ○利用する児童が少ないため、Sola る一むの利用法が確立されていない。 〈課題〉 ○児童が安心して先生や保護者に相談できるようにする。 ○Sola る一むについて、いつでも利用できるように利用法等を決める。	・児童が楽しく落ち着いて生活できる場の創出	①児童を褒める場面を設け、自己肯定感を高める。(随時) ②あいさつやいじめ防止のキャンペーンを児童中心に行う。(学期1回)	・「落ち着いて生活できる」の「そう思う」の回答60%(R6 52%)				
		・児童が相談できる場の創出	①心と生活のアンケート・おはようメーカー等により児童の悩みを早期に見出し、面談するなど相談できるようにする。(随時) ②Sola る一むや児童の居場所や体制のルールを決める。(7月末)	・児童の学校評価「悩んでいることを相談できる」の肯定的な回答85%(R6 82%)				
3	〈現状〉 ○防犯や環境整備など保護者や地域が非常に協力的である。 ○保護者や地域の学校評価アンケート「学校に行きたい」「学校づくりに参画したい」と感じている方の割合が半数を超えている。 〈課題〉 ○行事等の公開をしているが、児童の様子などを知らせる学校HPの活用が必要と思われる。 ○保護者や地域が学校づくりに参画できるようにする。	・学校の様子を発信	①ホームページで児童の様子を発信して保護者・地域に知らせる。(週1回) ②保護者の参画意識を高めるため、授業や行事を公開する。(各学期) ③SSN協議会や学校運営協議会、学校だより等で学校の様子を地域へ発信する。(随時)	・学校が保護者へ授業を公開する機会を9回提供する。 ・地域へ学校の様子を発信する。				
		・保護者や地域の学校づくり参画機会の創出	①懇談会や学校評価等で保護者や地域の意見から改善を検討する。(随時) ②児童会の活動を学校運営協議会で報告し地域と協働する。(年3回)	・保護者や地域の学校評価「学校づくりに参画したい」の肯定的な回答保護者70%(R6 64%),地域80%(R6 74%)				
4	〈現状〉 ○4月末現在、いじめ案件が数件、長欠児童も数人いる。 ○毎年、不良個所を修繕し、児童への清掃指導を行っているが、廊下や階段のゴミが目立つ。 〈課題〉 ○学校が綺麗で生活しやすい環境を整えるため、児童への清掃指導の充実と保護者との協働による環境整備を行い、児童、教員、保護者が一緒になって、学校美化に取り組んでいく。 ○予算会議を開き、学校予算を計画的、効果的に執行することが必要であると思われる。	・安心安全な学校	①保護者や地域と連携した環境整備を行い、安心安全な学校を作る。(随時) ②おはようメーカーや心と生活のアンケートで児童の状態を把握する(毎回) ③校長が登校時の通学路の安全点検、安全指導を児童の安全を確保する。(随時)	・保護者と地域の学校評価「安心・安全な学校」の肯定的な回答95%以上(R6 保護者96% 地域95%)				
		・予算の適切な活用	①校長が安全点検の結果や職場環境アンケートから修繕を検討する。(毎月) ②予算の執行計画を確認し、予算内で効果的に活用する。(随時)	・学校予算の執行状況を確認する。(毎月)				
5	〈現状〉 ○教職員の学校評価で授業実践・カリマネのほぼ達成(8割)が16%と他よりやや低い。 ○教職経験の少ない5年次以下と臨任の教員が約半数いる。 ○市内市立学校で教職員の不祥事が起きている。 〈課題〉 ○研修により教職員のキャリアに合わせた指導力と専門性を高める。 ○教職員の不祥事防止のため、チェックシートや研修を行う。	・キャリアアップにつながる研修	①教室訪問や授業研究会での指導により、教員の指導力を高める。(随時) ②当初面談や達成状況面談時にキャリア段階に応じた研修や専門教科高める研修の参加について指導する。(年2回)	・教職員全員の12月末の研修件数が昨年度の5%増(143件 R6 137件)。				
		・働きがいのある職場づくり	①業務改善により働きがいのある職場をつくる。(随時) ②不祥事防止等チェックシートや研修により、教職員の規範意識を高める。(毎月)	・教職員の学校評価「働きがい」に関する肯定的な回答95%(R6 92%)				